

グローバル・エマージング・ボンド・オープン

追加型投信／海外／債券 **特化型**

愛称：受取物語

第237期末（2018年5月10日）	
基準価額	6,215円
純資産総額	18,503百万円
第232期～第237期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-7.3%
分配金合計	180円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第232期（決算日：2017年12月11日）
第233期（決算日：2018年1月10日）
第234期（決算日：2018年2月13日）
第235期（決算日：2018年3月12日）
第236期（決算日：2018年4月10日）
第237期（決算日：2018年5月10日）

作成対象期間
(2017年11月11日～2018年5月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

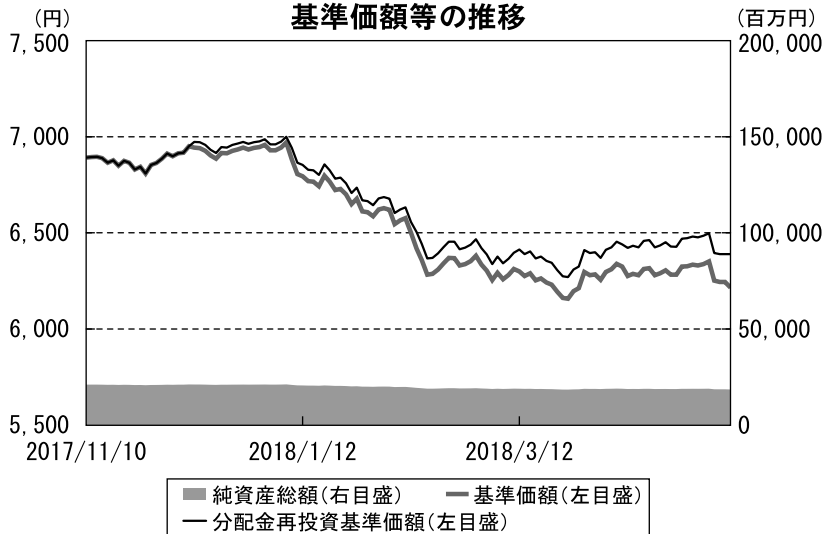
お客さまのお取引内容につきましては、お取引の販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第232期～第237期：2017/11/11～2018/5/10)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



当ファンドは、エマージング・カントリー公社債を主要投資対象としながら、機動的に米国国債に投資することで安定性を高め、信託財産の長期的な成長を図るとともに、原則として毎月、分配を行う商品です。このため、ベンチマークを定めておらず、基準価額動向と比較する適切な指数もないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載していません。

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	主に債券利子収入を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	主にエマージング債券市況が下落したことや米ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2017年11月11日～2018年5月10日)



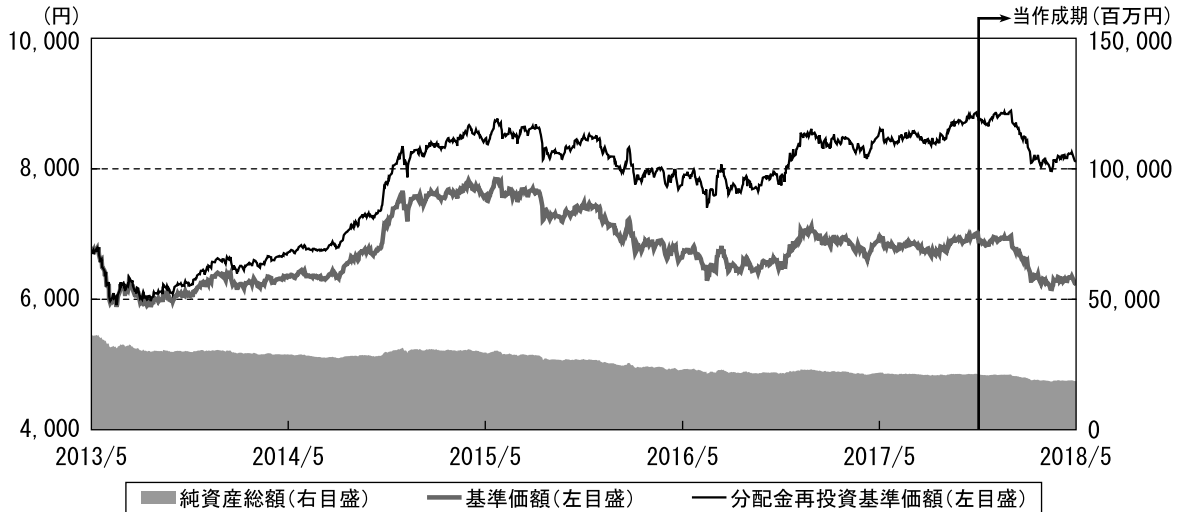
記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項 目	第232期～第237期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.816	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(32)	(0.480)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.282)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.007	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	54	0.823	
作成期中の平均基準価額は、6,561円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年5月10日～2018年5月10日)



・分配金再投資基準価額は、2013年5月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/5/10 期初	2014/5/12 決算日	2015/5/11 決算日	2016/5/10 決算日	2017/5/10 決算日	2018/5/10 決算日
基準価額 (円)	6,705	6,347	7,590	6,675	6,921	6,215
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.3%	25.8%	-7.5%	9.4%	-5.2%
純資産総額 (百万円)	35,958	28,757	29,552	23,024	21,794	18,503

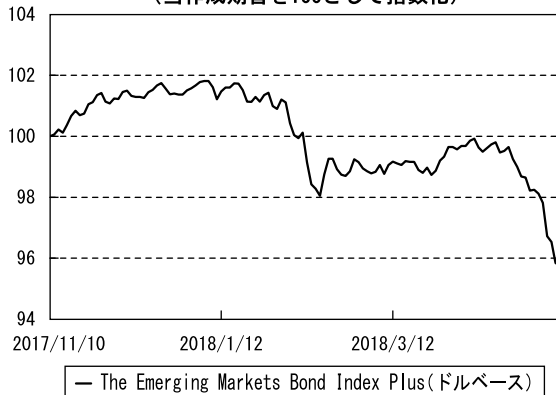
・ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドは、エマージング・カントリー公社債を主要投資対象としながら、機動的に米国国債に投資することで安定性を高め、信託財産の長期的な成長を図るとともに、原則として毎月、分配を行う商品です。このため、ベンチマークを定めておらず、基準価額動向と比較する適切な指数もないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載しておりません。

投資環境について

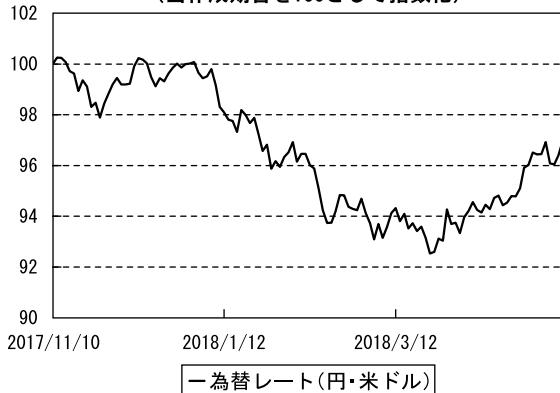
(第232期～第237期：2017/11/11～2018/5/10)

債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



(注) The Emerging Markets Bond Index Plus(J.P. Morgan エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス)とは、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、エマージングマーケット債市場の代表的なインデックスです。エマージングマーケット債のうち、発行規模・流動性などを考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎債券市況

・エマージング債券市場では、米国の利上げペースが加速するとの懸念が高まったことなどを背景に米国金利が上昇し、リスク回避の動きが強まったことなどがマイナス材料となりました。当作成期を通じて見ると、スプレッド(米国国債に対する上乗せ金利幅)は拡大し、エマージング債券市況は下落しました。

◎為替市況

・主に2018年1月中旬から3月中旬にかけて、米国の貿易政策に対する懸念が高まったことや世界的に株式市況が調整したことなどを背景にリスク回避の動きが強まったことなどが影響し、当作成期を通じて見ると、米ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎資産配分

- ・米国国債の組み入れを維持しつつ、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の国債を中心に運用しました。

◎国別配分等

- ・エマージング債券市場において、ブラジルなどの組入比率を引き下げた一方、バリュエーション面等を勘案し、ガーナの組入比率を引き上げました。

◎金利戦略

- ・米国国債などを一部入れ替え、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を長期化しました。

ポートフォリオ全体で見ると、エマージング債券市況が下落したことや米ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション

作成期首 (2017年11月10日)

最終利回り	4.0%
直接利回り	4.8%
デュレーション	6.4年

作成期末 (2018年5月10日)

最終利回り	5.1%
直接利回り	5.3%
デュレーション	7.4年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

(ご参考)

債券の格付分布

作成期首 (2017年11月10日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	13.2%	5
AA格	0.0%	0
A格	9.7%	2
BBB格	34.8%	13
BB格以下	39.7%	13
無格付	0.0%	0

作成期末 (2018年5月10日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	13.2%	6
AA格	0.0%	0
A格	10.4%	2
BBB格	43.3%	16
BB格以下	31.0%	11
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格 (AAA、Aaa)
 - ・AA格 (AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)
 - ・A格 (A+、A、A-、A1、A2、A3)
 - ・BBB格 (BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)
 - ・BB格 (BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、エマージング・カンントリー公社債を主要投資対象としながら、機動的に米国国債に投資することで安定性を高め、信託財産の長期的な成長を図るとともに、原則として毎月、分配を行う商品です。このため、ベンチマークを定めておらず、基準価額動向と比較する適切な指数もないため、ベンチマークおよび参考指数を掲載しておりません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について



分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期
	2017年11月11日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月10日	2018年1月11日～ 2018年2月13日	2018年2月14日～ 2018年3月12日	2018年3月13日～ 2018年4月10日	2018年4月11日～ 2018年5月10日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.430%	0.434%	0.465%	0.474%	0.476%	0.480%
当期の収益	25	18	20	16	18	19
当期の収益以外	4	11	9	13	11	10
翌期繰越分配対象額	1,663	1,652	1,643	1,629	1,617	1,606

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

◎運用環境の見通し

- ・世界経済の回復基調は継続していると見られるものの、グローバル金融市場における流動性引き締めが行われている環境下で、この景気回復が持続可能かどうかは慎重に見る必要があると考えます。エマージング諸国ではここ数年でファンダメンタルズの改善が見られることから経済成長が持続可能だと考えている一方、米国では景気拡大局面が長期間に亘っている中で、双子の赤字（財政収支と経常収支の赤字）などマクロ経済の不均衡が悪化し、かつ国外からの資金調達への依存度が増していることに注意が必要と見ています。

◎今後の運用方針

- ・新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、高水準の利子収益の確保と売買益の獲得をめざす方針です。エマージング国債等の銘柄選定については各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づいて行うとともに、機動的に米国国債にシフトすることによってパフォーマンスの安定性に配慮した運用を行います。
- ・エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の債券を中心に、米国国債も一部組み入れて運用する方針です。一方で構造改革などの政策を含めファンダメンタルズが改善傾向にある国で、バリュエーション面で投資妙味があると判断した債券については、市況動向を見極めながら新規組入や組入比率の引き上げを検討します。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）
（2018年1月1日）
- ・信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（特化型に分類）とともに、約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
（2018年2月10日）

◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

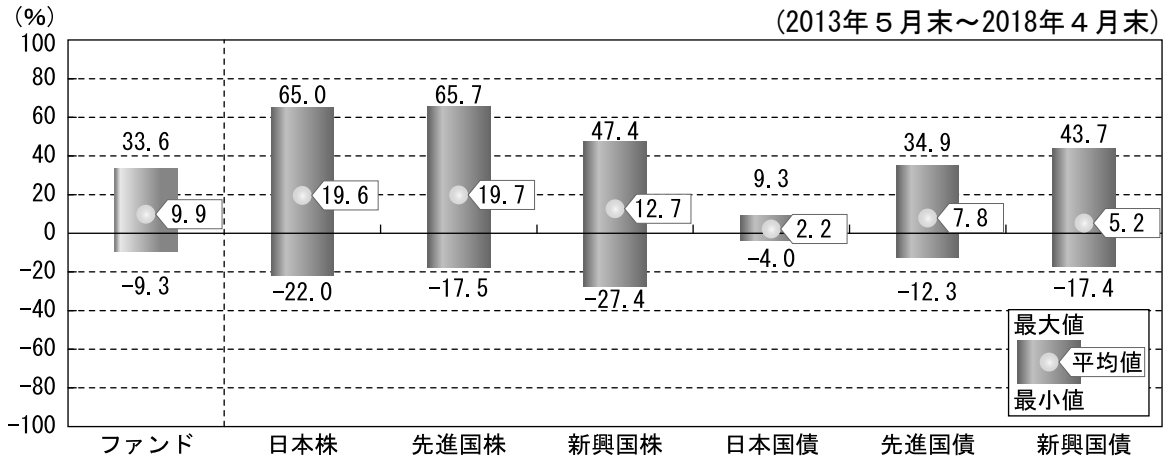
商品分類	追加型投信／海外／債券 特化型
信託期間	2023年7月10日まで（1998年7月31日設定）
運用方針	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カンントリー公社債）を主要投資対象とし、分散投資を行います。各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。機動的に米国国債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めます。原則として外貨建資産については為替ヘッジを行いません。運用の指図に関する権限は、シュロダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。
主要投資対象	米ドル建てエマージング・カンントリー公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

- ◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ◆ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カンントリー公社債）を主要投資対象としております。エマージング・カンントリー公社債には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄にデフォルト等の発生があった場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年5月から2018年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年5月10日現在)

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：35銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	8.3 MEXICO 310815	債券	メキシコ	国債	7.4%
2	7.5 ARGENTINA 260422	債券	アルゼンチン	国債	7.3%
3	5.875 INDONESIA 240115	債券	インドネシア	国債	7.0%
4	4.875 RUSSIA 230916	債券	ロシア	国債	5.4%
5	4.25 BRAZIL 250107	債券	ブラジル	国債	4.7%
6	4.625 BRAZIL 280113	債券	ブラジル	国債	4.5%
7	5.875 REPUBLIC OF 250916	債券	南アフリカ	国債	4.2%
8	4.85 SOUTH AFRICA 270927	債券	南アフリカ	国債	4.2%
9	2.75 T-BOND 470815	債券	アメリカ	国債	4.1%
10	5.625 RUSSIA 420404	債券	ロシア	国債	3.2%

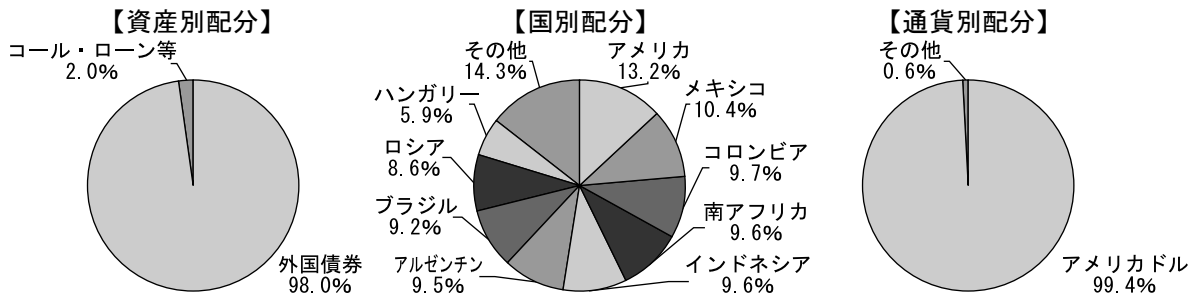
- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第232期末 2017年12月11日	第233期末 2018年1月10日	第234期末 2018年2月13日	第235期末 2018年3月12日	第236期末 2018年4月10日	第237期末 2018年5月10日
純資産総額	21,094,734,261円	20,888,224,200円	19,359,468,304円	18,908,022,516円	18,752,426,026円	18,503,179,928円
受益権口数	30,384,453,692口	30,353,001,843口	30,159,589,227口	30,017,915,190口	29,880,064,727口	29,771,661,509口
1万口当たり基準価額	6,943円	6,882円	6,419円	6,299円	6,276円	6,215円

- ・当作成期間中（第232期～第237期）において追加設定元本は 166,544,185円
同解約元本は 924,114,092円 です。

種別構成等



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村証券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村証券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信